

令和4年度の重点課題

○男子  
・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好き・やや好きという割合が89%である。(第5学年)  
・「長座体前屈」「反復横とび」が県平均かつ全国平均より低い。(第5学年)

○女子  
・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好き・やや好きという割合が91%である。(第5学年)  
「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」の4種目で県平均かつ全国平均より低い。(第5学年)

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○「分かった」「できた」を実感できるようにするために、体育科を担当する教員を中心に、系統性を意識した指導を行えるよう連携しながら授業を進める。

○児童の運動意欲と外遊びを増やすために、年2回のドッジボールクラスマッチを実施し、学級で練習に励む機会を設ける。

○児童の運動機会を増やすために、体育委員会が主体となって、全校を対象とした「鬼ごっこ」を行う。

○基礎体力をバランスよく伸ばすために、遊具を活用したJOSHOチャレンジや、体づくり運動の遊び方の紹介などを行う。

○基本の動作を確認するため、パワーアップタイムで「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」「ボール投げ」の練習機会

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	19.06	18.75	40.81	47.25	51.69	9.00	158.44	26.75	59.25	第5学年	18.60	18.40	43.27	43.67	52.20	9.57	148.80	16.93	60.53

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	19.06	18.75	40.81	47.25	51.69	9.00	158.44	26.75	59.25	第5学年	18.60	18.40	43.27	43.67	52.20	9.57	148.80	16.93	60.53

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	62.50	37.50	0.00	0.00	第5学年	57.14	42.86	0.00	0.00

学校独自の意識調査

	1日に1回外遊びをしますか。			
	はい	だいたい	あまり	いいえ
1年	41%	18%	6%	35%
2年	58%	23%	15%	4%
3年	56%	15%	23%	5%
4年	64%	21%	10%	5%
5年	45%	34%	17%	3%
6年	75%	11%	7%	7%
全体	78%		22%	

重点課題

情意面での課題

○男子  
・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは、好き・やや好きと答える割合が、95%である。中学年にあまり好きではないと答える児童の割合が多い。  
○女子  
・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは、好き・やや好きと答える割合が、85%である。ほとんどの学年でやや嫌い・嫌いと答える児童がおり、男子より10%も高い。  
○全体  
・学校独自の意識調査で、1日に1回外遊びをすると答えた児童が暑い・寒い時期にアンケートをすると、低い傾向にある。

体力面での課題

・男子・女子とも「上体起こし」が県平均かつ全国平均値より低い。(第5学年)  
・1日に運動をする時間が30分未満の児童が全体で25.5%いる。  
・総合評価D及びEの児童の割合が全体で33%いる。

令和6年度の重点目標値

- 「上体起こし」を県平均及び全国平均値以上にする。
- 総合評価D及びEの児童の割合を全体の30%未満にする。
- 第3～6学年において、体力優秀賞の児童を30名以上にする。
- 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは、好き・やや好きと答える児童の割合を男子は95%以上、女子は90%以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

【情意面】

- 他教科や学校行事等を関連させ、単元計画の見直しを図ることで、運動能力の向上を目指す。
- 本領域・単元ごとに身に付く力を児童と共有する時間を設ける。

【体力面】

- 運動が苦手な児童も意欲的に授業に参加できるよう、学年・学級の実態に応じた、コーディネーショントレーニングを授業に取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

【情意面】

- 年2回のドッジボールクラスマッチを通して、学級で外遊びする機会を設ける。
- 遊び方の紹介など、体育委員会が中心となって、全校で体を動かす機会を設ける。

【体力面】

- 週3回のランニングに年間を通して意欲的に取り組み、基礎的な体力を高めることができるようにする。
- 基礎体力や柔軟性・瞬発力など、新体力テストに向けた動きの質などを高めることができるように、体力テストまでの期間は課題種目に特化した取組を、パワーアップタイムで行う。